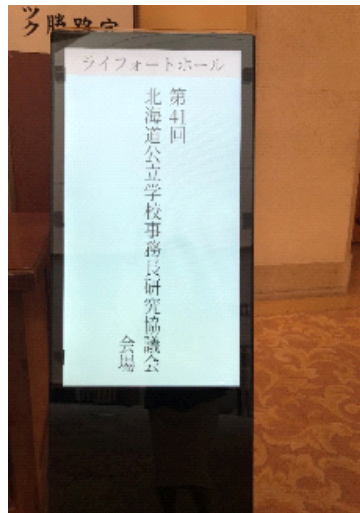


第41回北海道公立学校事務長研究協議会

令和6年9月12日～13日、ホテルライフオー・札幌を会場に、第41回北海道公立学校事務長会研究協議会が開催されました。



【開会式】

主催者を代表して北海道公立学校事務長会 鈴木貴之 会長より挨拶がありました。続いて、次のご来賓の方々よりご挨拶をいただきました。

北海道教育庁総務政策局	局 長	伊賀 治康 様
北海道高等学校長協会	会 長	宮澤 一 様
北海道特別支援学校長会	副会長	田近 憲二 様
全国公立学校事務長会	副会長	牧原 雄二 様



【講 演】

「スクールロイヤーの実務」と題し、廣部・八木法律事務所 弁護士 森 洋仁 様より講話をいただきました。いじめに対する関わり方についての対応例として、小学校のオンラインツールにおけるいじめのケースを実例解説していただきました。



また、教員がプールの栓を閉め忘れた場合、教員の過失はどの程度になるのか、PTA会費の未納問題等、多数の質疑が寄せられ、わかりやすく答えてくださいました。

最後に主管支部を代表して渡島支部長である北海道函館中部高等学校 兼頭 武大 事務長が謝辞を述べられました。

【研究協議「研究発表Ⅰ 給食会計手数料削減の取り組み」】

北海道鷹栖養護学校 小泉 雅朗 事務長より「給食会計手数料削減の取り組み」について、研究発表がありました。

近年、金融機関においては、ゼロ金利、マイナス金利政策の影響により収益構造が変化していることや高度化する金融システム等への対応のためインターネットバンキングやキャッシュレス決済を推進しており、銀行窓口における振込手数料が増額していることから、給食会計における振込手数料の削減に向けて検討を始めました。

今回の取組を進めるにあたり、自校の口座保有金融機関の状況等を踏まえ、最初に4つの課題（事務処理要領に則る、振込手数料を安価にする、事務にかかる時間の短縮、事故のリスクの軽減）を設定したうえで、金融機関の見直しやインターネットバンキングを活用した資金の流れの見直しを行うことで給食会計における振込手数料の削減につながったと研究成果の発表がありました。



【研究協議「研究発表Ⅱ 公宅売却について」】

北海道利尻高等学校 秋山 康弘 事務長より、前任校で経験した、町への高校の空き公宅の売却業務について、発表がありました。



「採用職員の増員を行っているが町内に借家がなく、公宅の確保をしたいが新築を建てる余裕がない」という状況を、「高校の空き公宅の購入」で解決を図りたい、と町から相談があったことが始まりの経緯であり、今後他校においても起こり得る可能性のある事例ということから、その業務の内容や処理手順、苦勞した点などについて話がありました。

購入希望者である町担当者からの要望に対し、教育局等と連携、情報収集を図りながら、公宅の建っている土地の分筆測量のための予算申請、土地家屋調査士との測量業務委託、法務局への届出、建物の地番変更申請等、これまで携わったことのない業務に悪戦苦闘しながらも、局の施設課担当者や法務局の登記官からアドバイスをもらいながら年度内にやり終えた経験を、エピソードも交えながら話し、出席者は興味深く聞き入っていました。

【全国活動報告】



全国公立学校事務長会副会長（東京都立青島特別支援学校経営企画室長）牧原 雄二 様より、全国公立学校事務長会の活動状況について報告をいただきました。

今年度の活動状況として、文部科学省への要望事項、能登半島地震義援金の送金、令和6年8月に開催された「第48回全国公立学校事務長会研究協議会並びに総会」について、その他理事等の組織活動、各地区の事務長会活動内容等について報告がありました。

【研究協議「研究発表Ⅲ 予算の節減について」】

北海道苫前商業高等学校 高宮 正俊 事務長より予算の節減について、研究発表がありました。着任した学校で担当者から予算が足りない相談を受け、過去の執行状況を分析



し、カラーレーザープリンターの使用を中止、対応策としてインクジェット複合機を置くことにしたこと、印刷機についても自校には必要なかったこと、トイレットペーパーのペーパーホルダーを変えて安いトイレットペーパーに切り替えた実例や、保健室から布団のクリーニング希望があった場合、場合によっては新しいものを買ってあげても良い、ランニングコストを考えて物を買う等、経験の浅い担当者にアドバイスしたことについて発表がありました。また、経費節減に向けて職員会議で示した資料の提供も有り、予算を有効的に執行する上で大変参考になった研究発表でした。

【グループ討議】

人材育成について、北海道教育庁総務政策局総務課 西山 一朗 主幹（人材育成専門官）による講話が行われ、自身が経験した過去の事例について紹介されました。

グループ討議後半は、4～8人のグループに分かれ、それぞれが抱える現在進行形の課題などについて意見交換が行われました。



【閉会式】

次期開催主管支部（石狩支部・札幌市立支部）を代表し、石狩支部長である北海道札幌北高等学校 青木 馨市 事務長より、来年9月18日、19日に第42回の当研究協議会が開催されることから、多くの参加をお願いしたいと挨拶がありました。

